

# 須佐地域の夢プラン

～知っちょる？ワクワクドキドキ須佐の街～



平成 31 年 3 月

須佐地域夢プラン策定委員会

## 目 次

1	地域の概況	1
2	地域でのこれまでの主な取組	2
3	地域の将来像と夢プランの実現	3
4	ワークショップにおける、その他意見やアイデア	8
5	夢プラン策定委員名簿	9

## 1 地域の概況

### (1) 人口・高齢化率（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- ・人口 2,528 人（須佐地区 2,038 人 弥富地区 490 人）
- ・65 歳以上人口割合 51.34%
- ・集落数 42

### (2) 自然・地理

須佐地域は、萩市の北東部に位置し、海岸部の須佐地区と山間部の弥富地区で構成される。須佐は地質の宝庫ともいわれ、須佐湾周辺は、約 1650 万年前に日本列島が定着して最初に堆積した須佐層群や、それを貫こうとしたマグマの作用を受けた高山や須佐ホルンフェルスがある。須佐湾は昭和 3 年に国の名勝・天然記念物、昭和 30 年には北長門海岸国定公園に指定されている。弥富地区には、阿武火山群の伊良尾山から流れ出した溶岩流でできた畳ヶ淵、猿屋の滝などに代表される自然の造形美が多数ある。

### (3) 産業

主な産業は漁業と農業で、漁業では須佐一本釣船団を中心としたイカ漁が盛んで、農業は米を中心に花き、そば、露地野菜などを生産している。

須佐地区では、主要水産物であるケンサキイカに着目した取組を進め、須佐男命いか祭りや漁師による須佐男命いかの直売市をはじめ、平成 18 年には「須佐男命いか」の商標登録を行い、ブランド化の取組を進めている。公共交通機関の拠点である JR 須佐駅周辺には須佐男命いか認定店や商業施設が集中しており、認定店では休日に行列ができるなど、県内を代表する地域ブランドとして定着している。

また、JR 須佐駅前にある特産品販売所と観光案内所を兼ねた「ふれあいステーション須佐」は、地域経済の活性化を図るためにリニューアルし、今後は交流拠点施設としての機能の充実も期待されている。

弥富地区では、溶岩流でできた肥沃な大地に主要生産物である米の他に、平成 10 年頃からそばの作付を行い、そばの生産拡大を図っている。



須佐男命いか

## 2 地域でのこれまでの主な取組

須佐地域では、須佐地域ふるさとづくり協議会を中心に、各種団体が住民主体の地域づくりを継続して行っている。

平成 28 年には、一般社団法人須佐おもてなし協会が設立され、特産品開発、名勝須佐湾をめぐる須佐湾観光遊覧船の運航など、漁業者や地域内企業と連携しながら、観光を中心とした地域活性化に取り組んでいる。NPO 法人須佐元気なまちづくりネットは、須佐公民館を拠点に、高齢者支援活動、生涯学習事業を展開している。

弥富地区では平成 29 年に弥富でっぴん会が設立され、高齢者支援や地域サロン活動を行っている。また、弥富村おこし会が「手作りそばの花祭り」を、豊ヶ淵交流事業実行委員会が「龍の通った道まつり」を実施するなど、自然と大地の恵みを生かしたジオパーク活動が盛んである。



須佐湾観光遊覧船



手作りそばの花祭り

主な取組	実施主体等
高齢者支援事業（通所・訪問サービス）	NPO法人須佐元気なまちづくりネット 須佐地区社協、弥富地区社協 弥富でっぴん会
須佐夏祭り・須佐湾大花火大会	須佐夏祭り実行委員会
ジオツーリズム（都市との交流事業、須佐湾観光遊覧船）	須佐おもてなし協会
イカ料理等漁村体験交流事業	漁協須佐女性部
須佐地域ふるさとまつり	須佐地域ふるさとづくり協議会
須佐男命いか祭り	漁協須佐一本釣船団他
グリーンツーリズム（農業体験・農家民泊）	萩市ふるさとツーリズム推進協議会
海の森づくり活動（磯の再生保全）	海の森をつくる会他
龍が通った道まつり（ジオツーリズム）	豊ヶ淵交流事業実行委員会
手作りそばの花祭り	弥富むらおこし会

### 3 地域の将来像と夢プランの実現（夢プランの展開図）

地域の将来像、目標、実現に向けた行程をワークショップにおいて検討し、夢プラン実現に向けての行動計画（夢プランの展開図）として次のとおり作成した。

#### （1）地域資源産品「弥富そば」のブランド化について

《地域の将来像》 弥富そばを須佐男命いかと並ぶ須佐地域（弥富地区）のブランドとして定着させたい。

《目標》 弥富地区で弥富そばの飲食店を創出し、地域外から人を呼び込み、「弥富＝そば」の地として認知度の定着を図る。併せてそば加工品の販路拡大と生産者の所得向上を図り、弥富地区の活性化を目指す。

#### （2）地域内の空き家の有効活用について

《地域の将来像》 地域内の空き家等を活用して、地域交流や経済活動の場を提供することで、地域の賑わいと活力を創出したい。

《目標》 地域内の空き家を活用し、ガレージセールやカフェ、音楽ライブ等の事業を展開することで、地域の賑わいと活力を創出する。

#### （3）地域が賑わうイベント・企画等について

《地域の将来像》 交流人口の増加と地域に収益が上がるようなイベントを開催し、須佐地域の新たなファンづくりをしたい。

《目標》 地域外から参加者が集まるマラソン大会（又はウォーキング大会など）を実施し、交流人口の増加と地域の賑わいを創出する。

#### （4）地域拠点の機能充実と須佐駅周辺を中心とする地域経済の活性化について

《地域の将来像》 地域の交流拠点施設ふれあいステーション須佐を核として須佐駅前を中心に、地域の経済を活性化したい。

《目標》 ふれあいステーション須佐が地域住民のふれあい交流拠点として機能し、併せて萩市ジオパークの発信、観光交流拠点として交流人口の増加、地域経済循環の活性化を目指す。





## 須佐地域 夢プランの展開図

### (1) 地域資源産品「弥富そば」のブランド化について

地域の将来像	目標・イメージ・効果・役割		
<p>弥富そばを須佐男命いかと並ぶ須佐地域（弥富地区）のブランドとして定着させたい。</p>	<p>◆<b>目標</b>                      弥富地区で弥富そばの飲食店を創出し、地域外から人を呼び込み「弥富＝そば」の地として認知度の定着を図る。併せてそば加工品の販路拡大と生産者の所得向上を図り、弥富地区の活性化を目指す。                      【数値目標】                      ・そば店舗営業日1日当たり来店者数 30人                      ・「弥富そば」の加工品 2023年に2018年比4倍の売上増加</p> <p>◆<b>イメージ</b>                      ・そばに対する潜在的な需要を掘り起こし、弥富そばの認知度アップとブランド化の定着を図り、弥富地区に来訪する顧客を獲得する。                      ・弥富そばのブランド定着と併せて、昼ヶ淵、猿屋の滝といった地区のジオサイトの魅力を生かし、弥富地区に目的をもって訪れる交流人口の増加を図る。                      ・弥富地区のジオストーリー（弥富龍神伝説と大地の恵みによるそば産地）との掛け合わせ萩市ジオパーク活動の取組として展開。</p> <p>◆<b>効果</b>                      ・弥富そばのブランド化を図り、そば農家の収入増加が期待できる。                      ・弥富地区での新たな雇用の創出や経済の波及効果が期待できる。                      ・弥富産そばの新たな販路拡大が期待できる。                      ・須佐地区、弥富地区のジオサイトの魅力と掛け合わせた萩市ジオパーク活動の一つとして定着化ができる。</p> <p>◆<b>役割</b>                      ・実施主体 弥富地区住民を中心に担い手グループを結成                      ・行政 事業立ち上げ段階の支援、各種行政手続の支援</p>		
目標に向けた取組			
1～2年目	3～4年目	5年目	
<p><b>1 そば店舗経営計画の作成</b>                      ・そば需要のマーケティングと、来店者を増加させて安定的に店舗を運営していくための計画を作成する。</p> <p><b>2 そば店舗経営の開始</b>                      ・地域の中で人材、スタッフを確保し、経営体を形成。                      ・他地域のそば商品との差別化を図るための調査・研究。</p> <p><b>3 PR活動</b>                      ・県内山陽側や広島方面、特に国道315号でつながる周南エリアを中心に出張PR活動を展開。                      ・地域のジオサイトに弥富そば店舗への誘導を促す広告等を設置。                      ・萩市ジオパークの強みを生かした弥富龍神そばのストーリー戦略を練り、ジオパーク活動と一体となった営業、PR活動を実施。                      ・そば加工品の販売促進と一体的に飲食店舗のPRを展開。                      ・そば需要の高まる年末期間のキャンペーン企画等の検討と実施。                      ・弥富そばPRキャラクターの検討。</p> <p><b>4 そば加工品の新商品開発</b>                      ・「弥富龍神そば」等の既存加工製品の販売促進強化に加え、他の事業所（販売所）等と連携したブランド力のある新商品開発の検討と試行。</p>	<p><b>1 事業検証と改善</b>                      ・利用者からの意見聴取を踏まえて改善点を模索。                      ・収支計算を踏まえた事業の修正。                      ・他事業と掛け合わせた運営の検討等。</p> <p><b>2 そば加工品の販路拡大</b>                      ・協力事業所と共に新商品等を含めたそば加工品の流通・販売ルートを開拓し、加工事業の拡大とそば店舗への流入増加を図る。</p> <p><b>3 体験プランの実施</b>                      ・そば打ち体験プランを計画、実施し、弥富そばのファン増加を図る。</p> <p><b>4 担い手の確保</b>                      ・事業を引き継げる新たな担い手の募集と育成。</p>	<p><b>1 経営体の組織強化</b>                      ・弥富地区で弥富そばや農産物の経営、地域課題の解決を、住民が主体となって取り組み、地域の自立を進める組織を強化する。</p> <p><b>2 農家の収益増加</b>                      ・これまでの取組を強化し、供給量の増加を図り、農家の収益増加を目指す。</p>	

## 須佐地域 夢プランの展開図

### (2) 地域内の空き家の有効活用について

地域の将来像	目標・イメージ・効果・役割		
<p>地域内の空き家等を活用して、地域交流や経済活動の場を提供することで、地域の賑わいと活力を創出した。</p>	<p>◆<b>目標</b>                      地域内の空き家を活用し、ガレージセールやカフェ、音楽ライブの事業を展開することで、地域の賑わいと活力を創出する。                      【数値目標】                      ・開催日1日あたりのガレージセール利用者 100人</p> <p>◆<b>イメージ</b>                      ・利用者の中心は地域住民。                      ・空き家を活用してほしい地域出身者と、地域住民のニーズをマッチングさせることで事業を展開。                      ・期間や日時を絞った形でガレージセールを開催。                      ・隔月でガレージセール開催と同時に田舎にないような移動販売カフェ店舗を展開。</p> <p>◆<b>効果</b>                      ・子どもから高齢者までが定期的集う地域住民の交流の場や居場所づくりの機能として期待ができる。                      ・リニューアルされる「ふれあいステーション須佐」との連携により地域内で互いの事業の相乗効果が期待できる。                      ・空き家・空き地を利用することにより遊休施設の再利用促進と地域景観の保全が図られる。                      ・移動販売カフェ等が、地域にない隙間を埋めるビジネスとして期待がもてる。</p> <p>◆<b>役割</b>                      ・実施主体 実行委員会を創設                      ・住 民 マーケットの利用者</p>		
<b>目標に向けた取組</b>			
	<b>1～2年目</b>	<b>3～4年目</b>	<b>5年目</b>
	<p><b>1 空き家活用事業の実施</b>                      (1) 実行委員会の創設                      ・計画を策定し実施するための実行委員会を立ち上げる。</p> <p>(2) 利用計画の策定                      ・地域の定期的な賑わいと住民の活力の創出を呼び起こす視点でガレージセールを計画。                      ・ガレージセールの出店者は原則地域内住民を中心に募集する。                      ・案内看板やのぼりの作成、PR方法の検討。                      ・移動販売車等の呼び込みを展開。                      ・開催日は、月末の日・月曜日を基本に開催。                      ・月ごとの出店予定者を掲載した年間スケジュールの作成。住民の定期的な楽しみとイベントとなるような計画の策定。</p> <p>(3) 事業の実施                      ・ガレージセール事業の展開</p> <p><b>2 ふれあいステーション須佐と連携した企画の検討</b>                      ・平成31年にリニューアルするふれあいステーション須佐との連携企画の検討。互いの施設を行き来するような仕組みづくりの計画と実証実験。</p> <p><b>3 事業の検証</b>                      ・利用者から意見聴取。                      ・改善点の模索と事業の修正。</p>	<p><b>1 空き家活用の新たな事業展開の検討</b>                      ・地域内の交流スペースとしてサロン、飲食の集い、学童保育など高齢者や子どもたちが集う他事業と掛け合わせた運営の検討。                      ・空き家でのターゲットを絞ったイベント企画の検討実施。                      ・利用者や地域の担い手メンバーが集い、地域づくりの座談や懇談の場とする。                      ・新たな空き家を活用した事業の検討。</p>	<p><b>1 事業検証と展開</b>                      ・検証、展開を繰り返しながらガレージセールの今後を検討。</p>

## 須佐地域 夢プランの展開図

### (3) 地域が賑わうイベント・企画等について

地域の将来像	目標・イメージ・効果・役割		
<p>交流人口の増加と地域に収益が上がるようなイベントを開催し、須佐地域の新たなファンづくりをしたい。</p>	<p>◆<b>目標</b>                      地域外から参加者が集まるマラソン大会（又はウォーキング大会など）を実施し、交流人口の増加と地域の賑わいを創出する。                      【数値目標】                      ・2023年度のイベント参加者数 300人</p> <p>◆<b>イメージ</b>                      ・萩市ジオパーク活動の一事業として「龍の通った道マラソン（仮称）」を実施。                      ・須佐地域と田万川地域のジオサイトをつなぐコースを検討。                      ・マラソン（又はウォーキング）愛好家はもとより、性別、年代を問わず地域外から参加してみたいと思う企画を掛け合わせる。                      ・参加者が地域の新たなファンとなってもらうことを目指す。</p> <p>◆<b>効果</b>                      ・萩市ジオパークを活用した地域の賑わいを生み出す新たなイベントとして期待できる。                      ・参加者に須佐地域、田万川地域の観光情報を周知し、周遊を図ることにより、地域の経済的波及効果が期待できる。</p> <p>◆<b>役割</b>                      ・実施主体 イベント実行委員会（地域内有志と協力団体で構成）                      ・住民 ボランティアスタッフ、沿道応援                      ・行政 行政手続き等の支援</p>		
目標に向けた取組			
1～2年目	3～4年目	5年目	
<p><b>1 準備・実行委員会の立ち上げ</b>                      ・地域内有志と須佐地域ふるさとづくり協議会等地域内関係団体で運営協力者を集めて協議。                      ・モデルとなるイベントの視察研修、研究。</p> <p><b>2 事業内容の検討</b>                      ・須佐～弥富～小川～江崎のように地域間を結ぶコースづくり。                      ・マラソン愛好家と同時に女性や子どもが喜びそうな企画を掛け合わせて、家族での参加者をターゲットにしたような企画を検討。                      ・参加者をもてなす特産品販売所の開設。                      ・イベント参加者がふれあいステーション須佐や道の駅ゆとりパークたまがわ、田万川温泉へ立ち寄る仕掛けづくりを検討。</p> <p><b>3 プレイベントの開催</b>                      ・県内山陽側、島根県等に参加者募集のPRを展開。                      ・参加者が地域のリピーターとなる参加者特典（地域の年間パスポート、イベント情報や割引・優待券など）の検討。</p> <p><b>4 プレイベントの事業検証</b>                      ・事業の収支、受入側のスタッフ数等、次年度以降の継続に向けた改善点の模索と検討。                      ・地域内への波及効果の検証。</p>	<p><b>1 イベント継続と展開</b>                      ・事業検証を踏まえて、地域の新たな収益イベントとして定着化を目指す。                      ・検証結果によっては、新たなプログラム・イベントへの移行を模索。</p>	<p><b>1 イベントの定着</b>                      ・地域にとってのメリットや経済的効果が上がるようなイベントの定着化を目指す。</p>	



## 須佐地域 夢プランの展開図

### (4) 地域拠点の機能充実と須佐駅周辺を中心とする地域経済の活性化について

地域の将来像	目標・イメージ・効果・役割		
<p><b>地域の交流拠点施設ふれあいステーション須佐を核として須佐駅前を中心に、地域の経済を活性化したい</b></p>	<p><b>◆目標</b> ふれあいステーション須佐が地域住民のふれあい交流拠点として機能し、併せて萩市ジオパークの発信、観光交流拠点として交流人口の増加を図り、地域経済循環の活性化を目指す。 【数値目標】 ・ふれあいステーション須佐の入店者数 2017年度19,072人⇒2023年度70,000人 ・須佐ホルンフェルス観光客数 2017年度36,318人⇒2023年度45,000人</p> <p><b>◆イメージ</b> ・地域のふれあい・観光交流拠点として鮮魚・農産物をはじめとした地域産品の販売が促進され、地域経済が循環する施設として機能させる。 ・須佐公民館を拠点に住民のふれあい交流・生涯学習・元気な高齢者活動が活性化され、ふれあいステーション須佐の機能充実と併せて地域全体で住民活動・地域経済を活性化させる。 ・萩市ジオパークのジオサイトや活動等が発信され、須佐地域が萩市ジオパーク活動を先導する地域となる。 ・須佐地域の他の夢プランと掛け合わせた事業を展開する。</p> <p><b>◆効果</b> ・漁協、農協、須佐男命いか認定店などの商業施設、弥富そば生産組合、個人農家などと連携した事業展開をすることで地域経済の好循環が期待できる。 ・出荷者をはじめ、利用者である地域住民の積極的な参加により地域の賑わいを創出できる。</p> <p><b>◆役割</b> ・実施主体 ふれあいステーション須佐指定管理者、須佐おもてなし協会、各種地域団体、運営に参画する地域住民 ・住民 施設の利用者、産物の出荷、運営協力</p>		
<b>目標に向けた取組</b>			
<b>1～2年目</b>	<b>3～4年目</b>	<b>5年目</b>	
<p><b>1 地域経済循環の拠点となる「ふれあいステーション須佐」の活性化</b> (1) 地域住民にとって愛着のある地域拠点 ・スタッフの接客や、おもてなし教育の推進。</p> <p>(2) 地域住民が運営に参画する施設 ・地元産の鮮魚、農産物など地産地消を目指して地域の漁家や農家による積極的な出荷体制を確立。 ・地域住民が購買者としての立場だけでなく、運営に参加協力し、地域一帯で運営していく施設を目指す。</p> <p>(3) 魅力ある観光施設をつなぐ交流拠点 ・須佐男命いか認定店、須佐ホルンフェルス、須佐湾遊覧船、エコロジーキャンプ場、歴史民俗資料館、豊ヶ淵など魅力的な観光施設をふれあいステーション須佐を拠点に周遊するプログラムを作成し、観光交流拠点としての機能を充実させる。</p> <p>(4) 住民が集う拠点施設の結びつき ・生涯学習事業、高齢者の居場所づくりの拠点となる須佐公民館と経済の拠点となるふれあいステーション須佐で、互いの拠点施設を行き交い、地域活動、経済活動に参画する住民を増やす。</p> <p><b>2 萩市ジオパーク活動を先導する須佐地域</b> ・地域におけるジオガイドの育成。 ・須佐ホルンフェルスジオガイド、須佐湾観光遊覧船、豊ヶ淵交流事業などのジオパーク活動の充実。</p>	<p><b>1 須佐地域魅力発信事業 (1) 出張キャンペーンの実施</b> ・既存のリピーター観光客に加え、須佐男命いか・弥富そばなどの地域資源の新規顧客を獲得するため地域外へ向けて直接情報発信する出張販売キャンペーンを実施。</p> <p>(2) 体験交流企画の実施 ・須佐男命いか、弥富そば等地域の食の資源と須佐湾観光遊覧船、ジオサイト、自然資源、歴史遺産を生かして、須佐地域を学び・遊び、体験する交流企画で須佐地域の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。</p> <p><b>2 漁業・農業の担い手確保</b> ・地域の農水産物のブランド化と需要拡大を図り、新規就業者の呼び込みを図る。</p>	<p><b>1 地域運営組織の充実</b> ・須佐おもてなし協会、NPO法人須佐元気なまちづくりネットなど、地域運営組織に参画する住民を増加することにより組織強化を図り、持続可能な地域社会の形成と地域経済の発展を図る。</p> <p><b>2 事業の検証と発展</b> ・これまでの取組の効果を検証し事業の発展を図る。</p>	

#### 4 ワークショップにおける、その他意見やアイデア

- ・高齢化が進んでも高齢者が自宅に引きこもらず、元気で生き活きと活動する地域にしたい。
- ・地域外へPRできる地域の魅力を磨き、地域出身の高校生や大学生が戻ってきたい、「須佐出身」と胸を張って言える子どもを育てたい。
- ・休校となる弥富小学校が、再び開校するよう子どもたちがたくさんいる弥富にしたい。
- ・既存の地域団体のメンバーが年配で固定してしまっている。若いメンバーにも入ってもらい、一緒に思いを共有し、活動を引き継いでいってもらいたい。
- ・須佐総合事務所内の空きスペースにシルバー人材センターや商工会の事務所を移転し、地域内の機能を集約できないだろうか。
- ・高校生の通学用に弥富地区から JR 須佐駅までの送迎システムを作られないだろうか。
- ・地区社協や NPO 須佐元気なまちづくりネット、弥富でっぴん会などでは、高齢者が生き活きと過ごせる憩いの場づくりや、高齢者の交通手段の確保、通院の支援を行っている。今後も地域では超高齢社会が続く見込みで、そういった活動の充実が求められる。
- ・観光者向けに JR 須佐駅にレンタル電動自転車等を配置できないだろうか。
- ・須佐地域の経済が回る仕組みとして地域通貨の発行は考えられないだろうか。
- ・須佐駅周辺や国道 191 号線沿いを花畑で飾り、花いっぱい運動と掛け合わせた運動を展開できないだろうか。
- ・須佐湾観光遊覧船乗り場に子どもが描いた海の絵を展示してみてもはどうだろうか。

## 5 須佐地域夢プラン策定委員（五十音順）

明山 真紀	明山 智子	石田 憲雄	一木 清久	岩本 晶吾
岩本 偉久	岩本 裕子	岩本眞知子	緒方恵美子	奥山 明
小野 正嗣	久保 隆	品川 石和	田嶋 園枝	富田 京子
豊田 竜児	林 和哉	的村 るみ	茂刈 富江	矢田 直江



【～私の宝・私の挑戦～】





須佐地域夢プラン策定委員会

萩市 地域政策部地域づくり推進課